

低侵襲心臓手術において肺動脈カテーテルを挿入した症例の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

弁膜症に対する低侵襲心臓手術（MICS）は小切開の肋間開胸で行われる手技であり、胸骨正中切開による標準的な術式に比べて手術侵襲が小さいです。肺動脈カテーテルは周術期管理において血行動態把握のために用いられますが、術野での縫い込みや肺動脈損傷など重篤な合併症を起こす危険性があり、心臓血管外科手術の全例に挿入することは推奨されていません。

MICSにおいては、限られた術野に肺動脈カテーテルを挿入する利点と欠点を考慮する必要があるため、肺動脈カテーテルと低侵襲モニタリングのどちらを選択するかに関して、一定の見解が得られていません。本研究においては、MICSにおいて肺動脈カテーテルを挿入した症例を検討し、どのような場合に肺動脈カテーテルを挿入したほうがよいかを検証します。

研究の対象となる方

2018年1月から2024年6月にMICSによる手術を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、術前の肺動脈圧と心機能、術中使用薬の種類と量、体外循環の手法、術式、肺動脈カテーテルを挿入した時期など

使用開始予定日：2024年7月23日

研究予定期間

2024年7月23日～2025年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 麻酔科 隈元泰輔

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 麻酔科 隈元泰輔

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)